

## 住民説明会（岸谷地区）

日 時 7月29日（木） 13:00～14:06

場 所 熱海リフレッシュセンター 岸谷地区

参加者 27名

### <市長あいさつ>

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともにお悔やみ申し上げます。

当初捜索活動は手掘りで行っていたが、現在は重機を主体とした部隊編成になっています。

7月29日、国道135号が開通する。

7月30日、東海バス、熱海－湯河原間の運行が再開される。

国が直轄で、逢初川上流部に砂防ダムの新設が決定したが、完成までに2年ほど掛かる予定です。

今後は、捜索活動を行いながら、県・国と緊密な連携をとり、地元の声を聞き、復旧・復興に取り組んでいきます。

7月26日から市役所福祉センター内に相談窓口を設置しました。

市長挨拶後、各担当（水道温泉課、税務課、まちづくり課、長寿介護課、社会福祉協議会より説明

水道温泉課 被害の程度により料金の減免が受けられます。

税 務 課 発行できる証明は、り災証明書、被災証明書、被災届出証明書の三種類ある。これらには、窓口での申請が必要です。

まちづくり課 7月30日から県営住宅、市営住宅の受け付けを開始する  
市外にいる人たちへの周知が課題であると認識しています。

長寿介護課 被害の程度によって、生活必需品の支援を受けることが可能です。

社会福祉協議会（災害ボランティアセンター） 具体的に何に困っているのか調査を行い、現状を把握していきます。

### 地域の人からの質問

Q 伊豆山小学校では、いつ頃から授業ができるのか。

A 夏休みの影響は少しであると考え。2学期から泉小学校で授業を行います。

Q 盛り土問題について、どう考えているのか

A 盛り土の原因がどういうところにあるかということを検証する必要があります。

国土交通大臣が来た際に、今ある盛り土規制に問題があるのではないのかと提言した、県も国も調査している。これまでの行政の対応についても調査している。今すぐに、方針や何か問題があったかは説明できない。

Q 同報無線について、町内放送が使えないから困っている

A 市の放送機器で個別に対応したい。

Q 水道の手続きについて、市役所まで行って、申告しないと駄目か

A ぜひお願いしたい。

Q 罹災証明書は予約制か

A 予約制ではないので、来所して申請ください。

Q 市道伊豆山神社線の復旧見通しは

A 人命救助が最優先のため、もう暫くお待ちいただきたい

Q 上の方に地割れ、台風もあり心配、この先、戻った場合が安全なのか、被害を受けていないが立入禁止区域である

A 源頭部について、国交省や県が監視している。水道・電気の復旧した部分については、立入可能である。立入禁止区域の線引きが難しい状況である

Q 他の地域に自主避難されている方への情報が非常に少ない。市のSNS等で情報を発信すべき

A 市外に居る方にどう周知するか検討します。

Q 電話回線でパソコンに繋がっているため、断線によりパソコンが使えない  
Wi-Fiのようなものを設置して欲しい。

ライフラインの説明が上下水道のことしかない。ネット環境についてもしっかりとしてほしい。

Q 罹災証明が出ない人に対しての救済はあるのか

A 立入禁止区域等で家があるのに戻れない人に対しても、物資と支援を検討する。

Q 不安と恐怖でもうここに住みたくないという人もいる、河川の整備をしっかりと欲しい

A 安心・安全なまちづくりが必要。2級河川は、県の管轄であるので市だけでは決められ

ないが、県に全て任せるつもりはない。市としてもしっかり取り組む。